

ボランティア・NPO

こんにちは、支援センターです。



〒930-0094 富山市安住町 5-21 富山県総合福祉会館内 TEL:076-432-2987 FAX:076-432-2988
URL: <http://www.toyamav.net>/E-Mail: info@toyamav.net

新年あけましておめでとうございます

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

コロナ禍も4年目となりますが、依然として制約のある生活が続いています。一方、その脅威は次第に薄れつつあり、前向きに社会活動に取り組む姿勢も見られるようになってきているのではないのでしょうか。

昨年のボランティア・NPO大会では、規模をやや縮小しての開催としましたが、コロナ禍前と同様の多くの団体に参加いただき、また、大勢の方々に来場いただき盛況裡に終えることができました。コロナ禍にあっても、活動に対する自信が深まりつつあるのを感じることができました。

しかし、一方で、依然として少子・高齢化に加え、格差拡大、急激な物価高など、地域を取り巻く課題は複雑化・深刻化するばかりです。

先日開催いたしましたボランティア・NPO活動啓発講演会では、近年、全国的に大きな広がりを見せている「こども食堂」を取り上げました。こども食堂は、子どもの貧困のために始まりましたが、子どものためだけのものでもありません。子どもの保護者、高齢者、障がい者、その他地域住民の誰もが自由に集い交流する場であり、失われつつある地域力を再び養う場でもあります。こうした新たな活動には、新たなボランティア・NPOの力が求められています。

これからのボランティア・NPO活動には、若い力を取り込み、団体相互の協働・コラボなどが不可欠です。当センターでは、活動の輪を広げ、心豊かでふれあいのある地域社会の実現に向け、支援を充実していきたいと考えております。活動をこれからも継続し、新たなニーズを取り込み、未来へ向けて拡充してこそ、ボランティア・NPO活動に対する期待が高まるものと思ひます。

今年 は卯年です。皆様の活動がますます発展し、新たな飛躍の年になりますようお祈りいたします。



富山県民NPOファンドへの寄付金の状況

令和4年度に、当センターにお寄せいただいた寄付金は次のとおりです。(令和4年12月13日現在)

✿寄付金申込件数 121件 ✿寄付金総額 1,033,220円

多くの皆さまから、あたたかいお気持ちをお寄せいただき誠にありがとうございました。この資金を活用して、今後もNPO活動等への支援を行ってまいりたいと思ひますので、皆さまのご芳志をお願ひいたします。(本ファンドの寄付は、寄付金控除の対象となっています。)

令和4年度富山県民NPO活動支援ファンド助成金 決定一覧

団体名	事業・活動名	団体名	事業・活動名
NPO 法人ここらいふ	フラワーセラピー	NPO 法人 富山アイススポーツクラブ	小学生の運動教室
NPO 法人 きんたろう倶楽部	夏休み子どもわくわく自然 観察会	星槎国際高校富山キャンパス ボランティア部	第10回元氣とやま紙芝居大会 及び紙芝居読み聞かせ活動
ボランティア団体 富山こども遊覧局	SDGs体験交流会 海岸清掃と地引網の集い	子育て支援サークル すみりー	子ども子育て支援事業

令和4年度ボランティア活動普及支援事業費補助金 決定一覧

団体名	団体名
協同組合高岡建設業協会	NPO 法人 TEAM AVANTE
NPO 法人リボンfrom とやま	NPO 法人きんたろう倶楽部
六渡寺自治会	富山県地域活性化団体まるごと TOYAMA
富山県自然保護協会	



第34回 富山県民ボランティア・NPO大会

とやまの元気 ボランティア・NPO フェスティバル

ボランティア・NPO活動の発信や参加・連携・交流を目的に、令和4年10月6日（木）に県総合福祉会館で式典を、15日（土）に富山市総曲輪グランドプラザでフェスティバルを開催しました。

6日の式典では、高木大会長と横田副知事から挨拶をいただいた後、ボランティア・NPO活動に顕著な功績を挙げられた個人・企業・団体等の皆様（会長表彰：20名・13団体・3企業、奨励賞5団体）と、NPO法人やボランティア団体へ多額の寄付をされた皆様（6名・1企業）を顕彰する表彰式が行われました。また、第2部として過去受賞団体の「NPO法人大空へ飛べ」、「NPO法人きんたろう倶楽部」に活動事例を発表いただきました。

15日のフェスティバルには、41ものNPO法人とボランティア団体の参加がありました。長引くコロナ禍で感染拡大防止に留意しながら、今年は、パネル展示による団体・活動紹介22ブース、作品等の展示・販売7ブースのほか、新たに5つの体験コーナーを設けました。また、8団体によるステージ発表や17団体による大型ビジョンでの団体PR動画放映を実施するなど、少しでもコロナ禍前の賑わいを取り戻すよう工夫を凝らしました。来場者からは、「団体から詳しい説明があり、興味が高まった。」、「参加団体等の皆さんの努力の様子があった。」、「ステージ&映像で盛り上がってよかった。」などの感想をいただきました。おかげをもちまして無事2日間を終えることができました。ご来場の皆様、参加や運営協力をいただいた皆様、誠にありがとうございました。

NPO 法人りばてい - One
からのご紹介!

団体リレー紹介!

No.7!

NPO 法人むげん(射水市)
理事長 門田 晋

❀ 明けましておめでとうございます ❀

私は、この挨拶言葉には、本当に「意味深い」ものがあると思っています。

障害があろうがなかろうが、地位があろうがなかろうが、隣り合わせでご近所さんにも久しく会ってない友人たちも、お正月には自然に「おめでとうございます」と、皆が言える「言葉」であり、社会的な「挨拶」だと言われています。

あえて、こだわりの部分から書き始めてしまいましたが、近年、コロナ禍が続き、社会現象として、身近な方々との会話やご近所さんたちとの「会話や挨拶」する機会が少なくなってきたといわれています。私たち、ボランティアや福祉関係者は、互いに顔と顔を合わせ、体と体をぶつけながら、お互いの元気を引き出したり、関係しあったりしています。その様な現場で活躍している方々で、この現状を嘆いていらっしゃる方も多いかと思えます。

心や体に障害があったり、又、ご高齢となり不自由な生活が余儀なくされている「生活弱者」と言われる方々が、安心して生活ができる社会を国・県は、「地域共生社会」と呼びその実現を目指していますが、今の地域社会はご近所であっても、見て見ぬ振りであったり、また、弱者を労り支え合うということが「私たちに関係ない」と多くの住民が感じるような社会となっている気がします。しかし、「ボランティアさんたちが頑張っている」地域は、「支え合い」や「助け合い」による「地域共生社会」が生まれてきているような気がします。

わたしたち「NPO 法人むげん」でも、地域住民の方々と障害者などが共に顔が見える交流を目的に、誰でも参加できる納涼祭、良い音楽を聴く会、クリスマス感謝祭などのほか、毎週、木金土曜日には、サロン喫茶など、特に高齢者の交流の場となるような企画(この 10 月には「心豊かに人生 100 年時代を過ごすには」をテーマのミニ講義(40 人ほど参加)など)を開催しています。更に当法人と同じ町内の棚田営農組合と共同し、朝どれ野菜の販売など農福連携活動を行うなど、地域の皆様にとって、なくてはならない活動を行っています。

私は、ボランティアは、「笑顔と手を差し伸べてくれる人」であり、「腹の底から心を込めた関係づくり」をしてくれる方だと思っています。ボランティアの方たちが人に接しているのは、決して「正月だから」ではないのです。今日、私たちが、多くの課題を抱え「少子・超高齢化社会を生き抜くため」には、国・県が言う「支え合いのある社会」がどうしても必要です。いま改めて、地域のご近所の方々に腹の底から、「明けましておめでとうございます」と同じように心を込めて「あんた元気にしとんがけー」と声をかけあえる社会を県民の皆さんと一緒に作っていきたいと思い、私たち「むげん」は活動を続けています。

ボランティア・NPO 活動啓発講演会開催!

- 11月30日(水)に「ボランティア・NPO活動啓発講演会」を開催しました!
- 当日は、足元の悪い中、遠方からも会場へご参加いただき、また、オンラインでもお忙しい中たくさんの方にご参加いただきました。第1部では、認定NPO法人むすびえの理事長湯浅誠さんから、「無縁社会と子ども食堂」と題しまして、ご講演いただきました。単なる食支援ではなく、一つの居場所として存在する大切さを学びました。第2部では、富山短期大学幼児教育学科准教授の明柴先生をファシリテーターにおおかけし、富山県子どもほっとサロンネットワーク代表田辺恵子さん、NPO 法人えがプロジェクトの代表出分玲子さん、NPO 法人大空へ飛べ理事長谷口徹さんと意見交換会を行いました。参加者からは「3人の話がそれぞれ実践に裏打ちされていて、現状をしっかり見据えておられとてもよかった」と感想をいただきました。今回の講演会を機に、子ども食堂や居場所が増えていくことを期待しています。

講座
報告NPO の
PR 戦略
～活動促進にむけて～

10月25日(火)、マネジメント力向上講座「NPO のPR戦略～活動促進にむけて～」を開催しました。「発信」、「PR」、「広報」は、NPO 活動を促進するうえで重要な手段です。株式会社 ワールドリー・デザイン 代表取締役 明石あおいさんから、紙媒体だけでなく世代を超えた発信ツールとして広く普及している SNS による発信のコツを学びました。「伝えたいこと」「伝えるべきこと」「伝えたい人」が何かを考えることが、広報をする際に重要なコツであるようです。ワークを通して自分たちの活動を見つめることにより発信力が高まるのではないかと感じました。



消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)について

令和5年10月1日から消費税の適格請求書等保存方式(インボイス制度)が開始されます。インボイス制度においては、買い手は消費税の仕入れ税額控除のためには原則としてインボイスの保存が必要となり、売り手はインボイスの交付を行うためには「インボイス発行事業者」の登録申請が必要です。詳細につきましては、「国税庁インボイス制度特設サイト」をご確認ください。

・早期登録の依頼

令和5年10月1日から「適格請求書発行事業者(インボイス発行事業者)」となるための原則的な登録申請期限は令和5年3月末になっています。申請期限が近づくにつれ、申請数が大幅に増加し、登録処理に時間がかかることが予想されますので、現時点で登録を予定されている事業者の方などには、できるだけ早期に登録申請を行うよう国からの協力依頼があります。なお、制度自体や「インボイス発行事業者」の登録申請手続きなど登録申請に際して必要となる情報は、国税庁ホームページの「国税庁インボイス制度特設サイト」内に掲載されています。同サイト内には、事業者の方の制度理解に資する資料や国税庁・税務署が主催するどなたでも参加可能な説明会のご案内等も掲載されています。また、一般的なご質問を受け付けるチャットボットやフリーダイヤルも開設されていますので、ご活用ください。

・制度に関する各種ご案内

【国税庁 インボイス制度特設サイト】



【国税庁 適格請求書等保存方式に関する Q&A】



- ★国税庁令和5年10月インボイス制度が始まります!(リーフレット)
- ★国税庁適格請求書等保存方式の概要インボイス制度の理解のために
- ★国税庁適格請求書等保存方式(インボイス制度)の手引き



NPO 法人会計税務基礎講座

日時:①簿記編:2月4日(土)・5日(日) ②税務編:2月11日(土) 時間はいずれも13:30~16:30
場所:富山県総合福祉会館5階501号室 **講師:**千田 篤さん(公認会計士・税理士)
受講料:各1,000円 **定員:**各日10名 **申込締切:**1月26日(木)

NPO 法人会計税務事務相談会

日時:1月19日(木)13:30~16:30
場所:富山県総合福祉会館3階交流会議室
講師:北陸税理士会所属の税理士
相談時間:1団体30分~1時間程度
申込締切:1月13日(水)

※締切後相談時間等のご連絡をします



NPO 法人の「決算資料作成説明会」

日時:2月16日(木)13:30~15:00
場所:富山県総合福祉会館5階501号室
講師:富山県県民生活課職員
対象:NPOの事務担当者など
定員:10名程度 **申込締切:**2月7日(月)



令和5年度ロッカー利用団体募集(無料)

富山県総合福祉会館(サンシップとやま)のボランティア交流サロンに設置しているロッカーの利用団体を募集します。印刷用の紙や文房具など、団体の活動に利用する物品の収納にぜひご活用ください。

◆**利用内容:**サンシップとやま3階 ボランティア交流サロン内 ロッカー

- (1)規格 ①幅393mm×奥行482mm×高さ395mm(ダイヤル施錠式)46個
②幅410mm×奥行413mm×高さ387.5mm(ダイヤル施錠式・仕切り有)7個
*1団体につき1個に限ります

(2)利用期間 令和5年4月2日~令和6年3月31日

◆**応募資格:**定期的にボランティア交流サロンを利用する団体で、
県内でボランティア・NPO活動を行っている団体。



【お問い合わせ・お申し込み先】認定NPO法人富山県民ボランティア総合支援センターまで
TEL: 076-432-2987 <http://www.toyamav.net/> Email: info@toyamav.net